

<材料化学システム工学討論会 2024> 報告書

幹事

杉目恒志(近畿大学)(文責)

菅原勇貴(東京科学大学)

伊與木健太(東京大学)

2024年10月24, 25日に同志社大学 東京オフィスにて材料化学システム工学討論会 2024が開催された。詳細は下記の通りである。

講演者・ 講演題目	～10月24日(木)～
	13:00～13:05 開会・集合写真(初日)撮影
	13:05～13:10 材料・界面部会長(岡山大学 小野努 教授)挨拶
	13:10～14:40 【依頼講演】「構造類似性に注目したゼオライトの設計と合成」 東京大学(正)村岡恒輝 氏
	14:45～16:15 【依頼講演】「自己組織化材料におけるナノ界面物性の解析手法の検討」 大阪大学(正)渡邊望美 氏
	(休憩)
	16:25～17:55 【依頼講演】「燃焼反応を利用した金属-酸化物界面の創製と 固体触媒への応用」 金沢大学(正)藤原翔 氏
	～10月25日(金)～
	9:00～10:30 【依頼講演】「生物学的ナノ粒子の物理化学的性質に着目した疾 患の理解と治療・診断への応用」 東京大学(正)中村乃理子 氏
	10:35～11:15 【学生講演】「ソフト多孔性錯体が示すゲート型構造転移挙動 の単一粒子レベル解析」 京都大学(学)有馬誉 氏
11:20～12:00 【学生講演】「ノイズ的攪乱を整流するラチェット」 同志社大学(学)畑谷実玖 氏	
12:00～12:10 総括・閉会の挨拶	
会場	同志社大学東京オフィス 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7-番19号 京橋イーストビル 3階
聴講者数	20名(産1名, 学19名)

(次のページに続く)

【集合写真】



【備考】

2024年度は昨年度に続きオンサイトでの開催ができた。2日間で一般講演者4名、学生講演者2名という、コロナ以前の日程・ボリュームにて実施された。参加者は20名となり、昨年度と同様にコロナ前と変わらない盛会となった。本討論会の特徴である討議が活発に行われ、発表時間が足りないほどであった。懇親会も盛り上がり、さらなる意見交換などが行われた。

2025年度の主幹事は東京科学大学の菅原勇貴氏、副幹事は京都大学の平出翔太郎氏である。

以上